

我儿之令其功二書ハ田人ノ境邊ニ因格ヲ寄セ九月十八日
其ノ致謝方ヲ嘆息於也ル也令其例ノ忘ルニ也トナサザルヲ
以テ更ニ謝私令本部ニ到リ事情ヲ具シ進勤方ヲ
依頼セリ也有給祝向ノ持本英美一及山口新地ノ両人
ノ直々ニ厚礼ヲ訪問ニ場最友田於ト令見シ致ニ田村
ノ後致テ御サハルトナリ御社ニ寄トシテニケ年分ノ五給方
ヲ懇乾セルニ此所違及有ニ対シ斯ク多額ノ解雇年分
ヲ支給スルニナリ持本ニ要例ヲ贈スニナリト同ジク峻拒セウ
シ而ナレハ人リ得ル変ナク辞去ニナリ

之ノ租ニ梅ニ充 該部致ニハ會社ノ總ニハ横置ナリト遂ニ
爲世ニナラズ先ニ工員長ノ慰禮ニ依リ 平靜ニ復シテ守割ニ
就世ニシテ、知ニ^{持本}交代ニ際シ俄外々印致ニ、印三務先部
殊ニ美眼ヲ進シ其ノ急曲ニ移リ先ニ付三務ニシテ平靜ニ終セウ
而テ之ヲ燦然ナリ致私令ノ百ナリテ其見ニナリ

二 誠私令燦然初調査

誠私令ニ於テハ會社ノ責任上主謀者ヲ調査来リ、其
子伊而ニ場ノ代表者トシテ令部致ニ持本豊^(三才)ニ
下ニ探知シ 持本^{持本}除名案分ニ付スルニ決意ニ一般令員
ニ通知セウ

三 主謀者ノ誠實、善、解決
令私令ニ於テハ其ノ解決シ一般令員ニ告ケル

(九月廿九日)